

# 議会トピックス

## モーガンヒル市と姉妹都市へ ～議長が調印～

**ミニ解説 モーガンヒル市**  
サンフランシスコから南東100kmにあり、瑞穂町の人口や面積とほぼ同規模の自然豊かな都市。誕生日(市制施行日)も同じ11月10日である。

7月3日、米国カリフォルニア州のモーガンヒル市と瑞穂町の姉妹都市を結ぶため、市内のコミュニティセンターにおいて調印式が行われました。式には町側から石塚町長、議会側からは原議長が出席し、宣誓書に署名を致しました。姉妹都市が提携されたことで、今後は市と町との間で、産業、教育、文化など、幅広い交流が期待されます。



宣誓書に署名する原議長

## ～産建委員長が意見発表～ 河川改修促進大会に参加



意見発表をする島委員長

5月19日に日本青年館で開催された河川改修促進大会に、13人の議員が参加しました。当日は、都内37区市町村の議員約1100人が集まり、国などの機関へ河川改修の早期完成および集中豪雨に対する対策などを要望する宣言や決議を採択しました。

また、各地区ブロックの意見発表を島産業建設委員長が近隣16市町村を代表して行い、「4市町を流れる残堀川に生物が生育・繁殖できる水量確保の対策が必要である」などの意見発表を行いました。

## 創作童話募集!

今号より最終ページに皆様から寄せられた作品の掲載を始めました。皆様もすてきなお話をプレゼントしませんか。瑞穂町に在住、在勤、在学の方ならどなたでも結構です。字数は400字詰め原稿用紙2枚以内です。

ご興味のある方は議会事務局までご連絡ください。

電話 557-7693



# 委員会視察報告

## 市民と行政の郷土愛から 産業建設常任委員会

北海道旭川市

5月9日～11日

◎島 英之 近藤 浩 竹嶋 久雄  
上野 勝 青山 晋 (◎委員長)

旭川市では、市民の意見を取り入れて建物の色や高さなどを規制する景観条例を制定した。制定の背景には、旭川ならではの豊かな自然、夜景などの街並みを後世に残したいと願う市職員と市民の共通認識があった。わが町でも住民、事業者、行政のそれぞれが役割を分担し、協力して自然と調和した景観づくりを実践していくことが必要と考えさせられた。

また、市営旭山動物園の産業振興についても視察したが、存続の危機に陥った園を全国的な人気まで高めた背景には、職員の大胆な発想と熱意があった。今では園の運営に対し、市民の寄付もあり市民と行政との一体感を感じた。



研修室などがある「道の駅たきかわ」

滝川市は、北海道ならではの一面に広がる菜の花畑を農業振興、観光、教育など、総合的に活用させるプロジェクト事業を実施していた。具体的には、住民の作った「なたね油」の特産品販売、菜の花まつり、また、子どもたちによる搾油や、刈り入れ体験の実施などである。これらは、農地保全にもつながる有効な事業と思われる。

また、当日は、市が建設した「道の駅」についても視察したが、ここでは、農産物の販売だけでなく会議室や研修室、交流ホールなどもあり、幅広い年齢層に利用され、賑わいを見せていた。

総合的な農地利用プロジェクト  
北海道旭川市

## 交通環境対策特別委員会 4月18日

◎竹嶋 久雄 ○近藤 浩 木原 武雄 小山 時夫 島 英之  
青山 晋 尾作 武夫 高橋 征夫 小川 龍美 (◎委員長 ○副委員長)

## 多摩都市モノレール・立川市市内循環バスを視察



多摩都市モノレールの司令室

多摩都市モノレール本社(立川市)を訪れ、社長や幹部の方との意見交換を行った。箱根ヶ崎駅までの延伸についての状況説明では「現状の経営では困難。国や都の補助があれば考えたい」とのことであった。また、その後、司令室、車両基地、駅周辺の整備状況を視察した。

午後には14年度から100円で運行している立川市の市内循環バス「くるりんバス」について、同市役所を訪問した。市職員の話では「民間バスの通らない交通不便地域の解消が目的であり、採算性は重視していない」などの説明を受けた。市民の足を確保しようとする市の姿勢はとても参考になった。